

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
吉野地区

平成27年3月

鹿児島県鹿児島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地区内通過所要時間	秒	270	210	196	確定		あり	159	H26年5月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	'主要地方道鹿兒島吉田線'の整備が進み、地区内を通過する所要時間の短縮が図られ、交通渋滞が緩和された。
指標2	車が離合できる道路の割合	%	83	90	93	確定		あり	94	H26年5月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	新たな幹線道路や生活道路の整備により、離合が困難な狭隘道路が解消され、大部分の道路で車両が離合できる幅員が確保された。
指標3	避難場所までの平均距離	m	289	222	222	確定		あり	-	-		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	土地区画整理事業区域内において、地域住民のコミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保された。
指標4	住民の満足度	%	50	80	73	確定		あり	64	H26年11月	満足度に関するアンケートの集計数が少なかったため、算出値に差異が生じた。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	今後も引き続き、土地区画整理事業区域内における幹線道路や生活道路等の整備による交通環境の改善及び良好な生活環境の形成を進め、地域住民の住環境に対する満足度向上を図る。
指標5	下水道普及率	%	36	64	59	確定		あり	60	H26年6月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	今後も引き続き、土地区画整理事業区域内における公共下水道事業(汚水)の整備を計画的に進め、市民の快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図る。

事後評価シート「評価結果のまとめ」から転記

フォローアップの必要のある指標について記入

その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	都市再生整備計画区域内及び周辺地域の居住人口	人	39,320	/	40,520	確定	/	/	40,512	H26年4月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	土地区画整理事業の推進により、住民が安心・安全に暮らせる良好な生活環境が形成され、定住意識の向上が図られたことで、区域内及び周辺地域の居住人口が増加した。
その他の数値指標2	/	/	/	/	/	確定	/	/	/	/	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標3	/	/	/	/	/	確定	/	/	/	/	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	/

事後評価シート「評価結果のまとめ」から転記

フォローアップの必要のある指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

「今後のまちづくり方策」の進捗状況

今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	良好な住環境の維持	整備改善された道路、公園等で定期的な清掃、点検、補修等を実施。	良好な住環境や都市景観を維持できており、憩いの場として地域住民の公園の利用が進んでいる。	地域住民や町内会等の積極的な参加による公共施設の維持管理(清掃)を推進し、市民と協働したまちづくりを実現する。
	整備された公園を避難場所として活用	鹿児島市地域防災計画における地震災害時の一次避難場所として、整備された公園を指定。	地域住民の避難場所が確保され、災害時の防災対策が強化された。	市ホームページや広報誌などによる住民への周知方法の充実を図っていく。
改善策	交通環境の改善 (歩行者及び通行車両の安全性の確保)	新たに作成した都市再生整備計画(3期)に基づき、土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備改善。	幹線道路や生活道路における歩車道の整備により、安全性の確保や機動利便性の向上など、交通環境の改善が図られた。	依然として歩行者や車両の通行が困難な狭隘道路が残されていることから、引き続き土地区画整理事業による公共施設の整備改善を行い、交通安全性の確保を図っていく。
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	住環境の改善及び防災性の向上	公園の整備による公共空間の確保や災害時の避難環境を改善するため、新たに都市再生整備計画(3期)を作成。	平成26年度より都市再生整備計画(3期)事業を開始。	地域住民のコミュニティの場や災害時の一次避難場所として機能する公園の整備を引き続き行い、防災性の向上を図っていく。

フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項